

決算特別委員会

- ◎ 開催日時 平成 27 年 10 月 19 日（月） 10 時 00 分～16 時 58 分
 - ◎ 開催場所 議員室
 - ◎ 説明員 堺井総合政策部長、青木総務部長、田端会計管理者、森野企業庁長、
笹田病院事業庁長、北川代表監査委員および関係職員

 - ◎ 議事の概要
 - 1 委員席の指定について

 - 2 審査日程について

 - 3 議第 126 号 平成 26 年度滋賀県一般会計および各特別会計歳入歳出決算の認定を求め
ることについて
議第 127 号 平成 26 年度滋賀県病院事業会計決算の認定を求めることについて
議第 128 号 平成 26 年度滋賀県工業用水道事業会計決算の認定を求めることについて
議第 129 号 平成 26 年度滋賀県水道用水供給事業会計決算の認定を求めることについ
て
報 第 8 号 滋賀県基本構想の実施状況について
報 第 10 号 平成 26 年度決算に基づく健全化判断比率について
報 第 11 号 平成 26 年度決算に基づく資金不足比率について
- (1) 決算概要
 - (2) 健全化判断比率および資金不足比率の報告
 - (3) 監査委員の決算等審査結果
 - (4) 滋賀県基本構想の実施状況報告
 - (5) 部局ごとの審査

【総務部所管分】

委員からは、移住・交流支援事業について、会議やセミナーを開催することが目標ではなく、移住人数の増加という結果をもって成果と言えるのではないかと。また、市町は具体的な数値目標を立てて取り組んでおり、県においても市町のように悲壮感を持って、真剣に取り組んでいただきたい、19 市町で自治会館の老朽化が進んでいることや、今後、介護予防や防災拠点として、自治会館が重要な役割を担うことを鑑みて、自治振興交付金が自治会館の改修に十分に活用できるように要望する、などの意見が出された。

【総合政策部所管分】

委員からは、ブランド推進のポータルサイトで特定の商店を取り上げているが、税金で実施する事業であるので考え方を整理すべきである、新生美術館の設計契約が約 1 億 8,000 万円と非常に高額であり、1 億 8,000 万円の予定価格ありきで進めるのではなく、もっと工夫ができたのではないかと、議会として新生美術館の妥当性を判断するためには

新生美術館とびわこ文化公園都市の整備費用だけでなく、備品の経費、工事管理費、年間の維持管理も含めたトータルで考える必要があるので、全体像を早急に示されたい、新生美術館にしてもアール・ブリュットにしても投資に対する効果を十分検証しないまま前のめりになりすぎているのではないか、アール・ブリュットは県民に普段から接してもらえるようにして認知してもらおうのが先ではないか、などの意見が出された。



委員会で配付された資料

- 1 審査日程
- 2 平成 26 年度滋賀県歳入歳出決算概要説明書
- 3 健全化判断比率および資金不足比率の概要
- 4 滋賀県基本構想の実施状況
- 5 滋賀県基本構想未来戦略プロジェクト実施計画進捗状況
- 6 歳入歳出決算概要（普通会計）総務部
- 7 決算特別委員会部局別資料（平成 26 年度歳入歳出決算）総務部
- 8 平成 26 年度随意契約の結果（500 万円以上の工事、物品、委託）総務部
- 9 決算特別委員会部局別資料（平成 26 年度歳入歳出決算）総合政策部
- 10 平成26年度随意契約の結果（500万円以上の工事、物品、委託）総合政策部